

# NEWS RELEASE

---

## SKY グループとの共同運営による、酒類飲食業界活性化ファンドの設立について

株式会社あおぞら銀行（代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO）：馬場 信輔、本店：東京都千代田区）およびその100%出資のファンド運営会社 あおぞら企業投資株式会社（代表取締役社長：米井 慎一郎、本社：東京都千代田区）は、株式会社 SKY グループホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：相馬 次郎）およびその100%子会社である株式会社 SKY グループインベストメント（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：針谷 祐司）と共に、国内の酒類飲食業界の健全な発展への貢献および活性化を目的とした業界特化型ファンド「SKY-AZ 酒類飲食活性化1号投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」）を設立いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

あおぞら銀行グループは、今後ともユニークで専門性の高いサービスの拡充に努め、“あおぞら”らしさに磨きをかけることで、“進化する「頼れる、もうひとつのパートナーバンク」”として、お客さまに対して付加価値の高いソリューションを提供してまいります。

### <当ファンドの意義>

酒類飲食業界は、短期的には足下の好景気や2020年に予定される東京オリンピック需要等を控え、市場の底堅さはあるものの、中長期的には少子高齢化や国内総人口の減少に伴い、競争環境のますますの激化が予想されます。こうした中、事業の構造転換や事業承継等の経営課題を抱える“成熟企業”が多数存在し、これらの課題解決ニーズを抱えています。また、一方で、既存のサービスにICT技術等を組み合わせた新サービスを展開するフードテック等の“成長企業”の参入・躍進も多くみられ、業界的には変革期にあります。

あおぞら銀行グループは、かかる変革期にあっていち早く業界ニーズへの対応を検討していた、酒類・食品販売のリーディングカンパニーをグループに有する株式会社 SKY グループホールディングスと共に、成長および再成長を目指す“成熟企業”および“成長企業”の企業価値向上を支援し、業界貢献・活性化を支援するファンドを設立し共同運用を行う旨、合意に至りました。

当ファンドでは、株式会社 SKY グループホールディングスが保有する経営基盤、事業ノウハウと、当行グループが有する経営基盤、M&A・投資に関する金融ノウハウを組み合わせ、業界における成熟・成長の両段階にある投資先企業に対して、事業・管理の両面から付加価値の高いサポートをしてまいります。

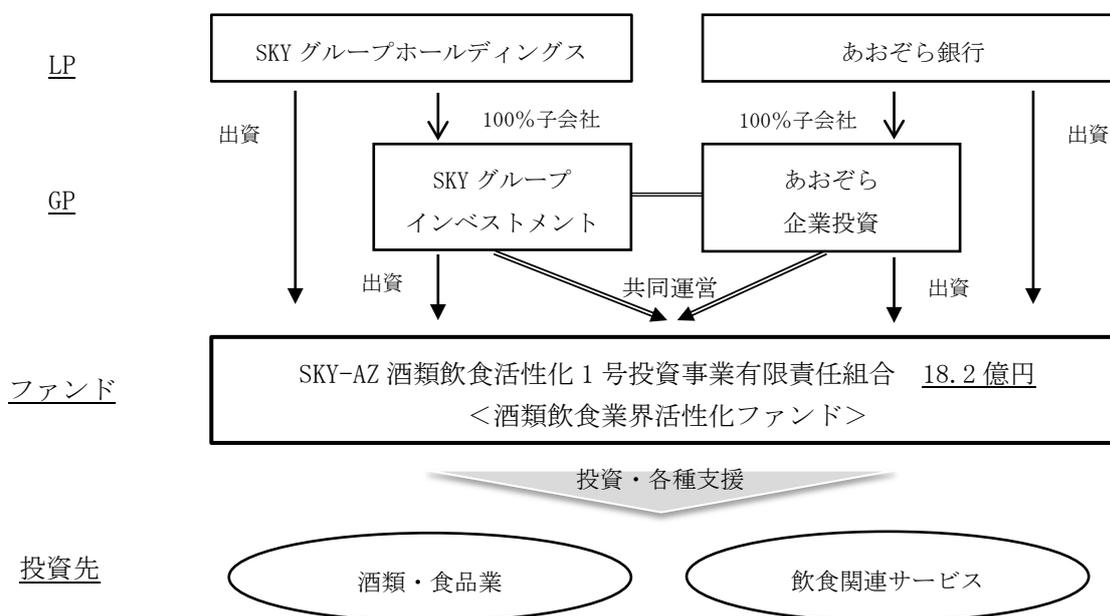
## <ファンド概要>

- ファンド名称 : SKY-AZ 酒類飲食活性化 1 号投資事業有限責任組合
- 所在地 : 東京都千代田区麹町六丁目 1 番地 1
- 組成日 : 2018 年 7 月 11 日
- ファンド総額 : 18.2 億円
- 無限責任組合員 : あおぞら企業投資株式会社 (あおぞら銀行 100%出資)  
株式会社 SKY グループインベストメント (SKY グループホールディングス 100%出資)
- (あおぞら企業投資株式会社の詳細は、本日付ニュースリリース“ファンド運営会社「あおぞら企業投資株式会社」の設立について”をご参照ください。)
- 有限責任組合員 : 株式会社あおぞら銀行、株式会社 SKY グループホールディングス
- 主な投資対象 : 日本国内の酒類・食品・飲食関連サービス企業
- 投資方針 : ①事業の構造転換や事業承継等の経営課題を抱える成熟企業へのマジョリティ投資  
②IPO を指向する成長企業へのマイノリティ投資

## <ファンド運営>

当ファンドの運営は、あおぞら企業投資株式会社と株式会社 SKY グループインベストメントによる共同 GP 方式で行います。

## <スキーム図>



## <株式会社 SKY グループホールディングスについて>

株式会社 SKY グループホールディングスは、国内酒類販売のリーディングカンパニーである株式会社カクヤス、業務用加工食材販売大手の株式会社ミクリード、文具事務機器等販売大手のオフィス・デポ・ジャパン株式会社など SKY グループ計 8 社を束ねる持株会社。

以上

(報道関係のお問合せ先：経営企画部 広報室 後藤 03-6752-1217)